
平成25年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成25年3月6日

質問者（質問順）

- 1 望月 康弘 委員（公明党）
- 2 磯部 圭太 委員（みんな）
- 3 白井 正子 委員（共産党）
- 4 古谷 靖彦 委員（共産党）
- 5 遊佐 大輔 委員（自民党）
- 6 輿石 且子 委員（自民党）
- 7 中山 大輔 委員（民主党）
- 8 石渡 由紀夫 委員（民主党）
- 9 山田 桂一郎 委員（ヨコ会）

健康福祉局

局 別 審 査

| |
|-----------------------|
| 1 望 月 康 弘 委 員 (公 明 党) |
|-----------------------|

1 よこはま保健医療プラン2013について

- (1) プランの前提となる、本市の保健医療の現状について、どのように認識しているのか伺いたい。
- (2) よこはま保健医療プラン2013の施策の方向性について伺いたい。
- (要望) 本市の実情に即した質の高い効率的な保健医療体制を整備するプランとするよう要望します。

2 脳血管疾患への対応について

- (1) 市が主導して整備した脳血管疾患救急医療体制への自己評価について伺いたい。
- (2) 救急搬送体制の工夫についての当局の考え方について伺いたい。
- (3) 脳卒中対策基本法の制定に向けた見解を伺いたい。

3 第2期健康横浜21の推進について

- (1) 第2期健康横浜21の取組の特徴について伺いたい。
- (2) 第2期計画において、保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動をどのように支援していくか伺いたい。

4 100万人の健康づくり戦略推進事業について

- (1) 25年度の100万人の健康づくり戦略推進事業の取組内容について伺いたい。
- (2) ウォーキングのモニター調査の目的と具体的な内容について伺いたい。
- (3) よこはま市民健康ポイント制度の検討状況及び実施時期の考え方について伺いたい。
- (4) 100万人の健康づくり戦略推進事業として、高齢者の方の社会参加、社会

貢献活動への支援をどのように促進していくのか伺いたい。

5 介護予防事業の充実について

(1) 25年度は介護予防事業をどのように充実するのか、伺いたい。

(2) 介護予防事業を、健康横浜21や100万人の健康づくり戦略推進事業とどのように連携し、取り組んでいくのか伺いたい。

6 食育の推進について

(1) 食育推進全国大会（横浜大会）の成果について伺いたい。

(2) 大会の成果を今後の食育推進につなげるためどのような取組を行うのか伺いたい。

7 健康づくり・介護予防の有機的な連携について

計画や事業を分野別ではなく、有機的に連携させ、トータルな施策として推進していくことが必要と考えるが、どうか。

(要望) 健康づくりや介護予防、食育などを総合的に進め、あわせて、その担い手となるボランティアなどの活動支援にも生かせるような制度設計をするよう要望します。

8 予防接種事業について

(1) 子宮頸がん予防等の3つのワクチンが定期予防接種化されると、費用負担はどのようになるのか伺いたい。

(2) 国がワクチンを新たに定期予防接種化すると、その分市町村の費用負担が増えるというのは、制度として課題があると思うが、どうか。

(3) 高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種について、本市としても積極的に進めるべきだと思うが、どうか。

9 将来にわたるあんしん施策について

(1) 3年間を振り返った所感を伺いたい。

(2) 障害者グループホームの高齢化対応について、どのように進めるのか伺いたい。

(3) 障害者移動支援施策の見直しについて

ア ガイドヘルプ事業の見直しの内容と考え方について伺いたい。

イ 通学通所支援の中に「乗降介助」「自立支援加算」を新規に設けた理由について伺いたい。

ウ 通学通所支援のニーズをどの程度と見込んでいるのか伺いたい。

エ ガイドボランティアの確保策について伺いたい。

(要望) 障害者がグループホームで安心して生活をするために、着実に高齢化対応を進めるよう要望します。

10 災害時要援護者対策について

(1) 条例整備した現在の所感を伺いたい。

(2) 情報共有方式の実施に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。

(3) 今後、自治会町内会等の自主防災組織への働きかけと支援をどのように進めていくのか伺いたい。

11 休日急患診療所における通信体制の強化について

(1) 衛星携帯電話とMC A無線機の特徴について伺いたい。

(2) 災害時に確実に使用できるための平素からの取組について伺いたい。

12 災害医薬品の整備、配備について

(1) 備蓄する医薬品の種類、薬局数、運搬方法について伺いたい。

(2) 備蓄方法の変更により期待できる効果について伺いたい。

13 猫の不妊去勢手術推進事業について

(1) 不妊去勢手術推進事業の目的について伺いたい。

(2) 来年度から補助頭数を6,000頭に拡大する理由を伺いたい。

(3) 募集についてはどうするのか伺いたい。

(要望) 市民の方々のニーズを的確に把握しながら、事業を継続して実施していくことを要望します。

2 磯部圭太委員（みんな）

1 「健康」、「福祉」に関する所感について

- (1) 「健康」、「福祉」とは何か、健康福祉局長の所感を伺いたい。
- (2) 「健康」、「福祉」とは何か、副市長の所感を伺いたい。

2 動物の愛護及び保護管理事業について

- (1) 動物愛護センターの現状と課題について伺いたい。
 - (2) 不妊去勢手術推進事業の対象動物病院を市外病院まで拡大しないのか伺いたい。
 - (3) 動物愛護センターで行う猫の不妊去勢手術は、どのような猫を対象として実施するのかなど、事業の概要について伺いたい。
 - (4) 動物愛護センター収容動物とのふれあい活動を日常的に実施する予定はあるのか伺いたい。
- (要望) 様々な手段を講じて、猫の不妊去勢手術の推進を行うよう要望します。
- (要望) 猫の不妊去勢手術推進事業は、内容を十分精査し、しっかりとした制度を構築して実施するよう要望します。
- (要望) 飼い主のいない猫への対策を拡充し、野良猫問題解決に行政として更なる役割を果たしていくよう要望します。

3 福祉のまちづくり推進事業について

- (1) 福祉のまちづくりを、今後どのように進めていくのか伺いたい。
- (2) 思いやりの心の育成などソフト面に関する取組の実施状況について伺いたい。
- (3) 福祉教育の今後の進め方について伺いたい。

4 障害者の移動支援施策について

- (1) 障害者の移動支援施策の見直しの考え方について伺いたい。
- (2) ガイドボランティアの登録数、利用者登録数、利用者登録をした方のうち

実際にボランティアの支援を受けられている方の割合について伺いたい。

(3) 25年度のガイドボランティア事業で、通学支援がどのようになるのか伺いたい。

(4) 24年度までの障害児通学支援事業の内容と実施状況について伺いたい。

(5) 25年度以降の特別支援学校の登下校時の見守りについて、どのように考えているのか伺いたい。

(6) 移動情報センター事業の事業内容及びこれまでの取組状況について伺いたい。

(7) 移動情報センターの25年度の計画及び26年度以降の考え方について伺いたい。

(要望) ボランティアが見つからずに困っている方の期待に応えられるよう、ボランティアを確保する方策に一層取り組んでいくよう要望します。

(要望) 移動に関する相談窓口が、なるべく早い時期に全区に整備されることを要望します。

5 生活保護の不正受給対策について

(1) 生活保護特別相談員のこれまでの実績について伺いたい。

(2) 告訴になった旭区の事例はどういった事例なのか伺いたい。

(3) 悪質な不正受給については、もっと告訴等を行っていくべきと考えるが、どうか。

(4) 不正受給の未然防止策の取組について伺いたい。

(5) 現在の生活保護制度での調査範囲について伺いたい。

(6) 今後期待する生活保護特別相談員の役割について伺いたい。

(要望) 悪質な不正受給や暴力団員への厳格な対応により、生活保護が市民から信頼される制度となるよう適正な実施に努めることを要望します。

6 生活保護受給世帯の子どもへの学習支援について

(1) 保土ヶ谷区で行われている学習支援事業の今までの実績について伺いたい。

(2) 保土ヶ谷区の学習支援事業から進学した子どもたちの、高校への通学状況はどうなっているのか伺いたい。

(3) 高校に進学した子どもたちへの支援の必要性について伺いたい。

(要望) 貧困の連鎖を断つ取組として、更なる高校生への支援に積極的に取り組むよう要望します。

7 地域福祉・交流拠点モデル事業について

(1) 現在の整備状況について伺いたい。

(2) 開所した拠点では、どのような取組が行われているのか、また課題はどのようなことがあるのか伺いたい。

(3) このモデル事業は、今後どのように展開していく予定なのか伺いたい。

(要望) 運営経費という観点も含めて検討することを要望します。

8 団体の補助金収支報告書問題について

(1) 決算審査における指摘内容及び答弁内容はどのようなことだったか伺いたい。

(2) その団体に対して、その後どのように指導対応したのか伺いたい。

(3) 本議会中に調査、対応が終了する見込みか。もし、終了しない場合には、新年度の補助金が執行されるようなことがないと思うが、確認したい。

(4) 補助金が返還されない場合の損失は誰が負担するのか伺いたい。

(5) 万一、新年度の補助金交付後に、補助金が返還されずに損失が発生する事態になった場合には、誰が責任を負うのか伺いたい。

(意見) 本議会中に結果が出ない場合には、大きな問題があると考え、その際には補助金執行をしないように申し添える。

9 管理体制と社会福祉法人改革について

(1) 法人管理について、この5か月間の間に具体的にどのように改善したのか。また、残った課題は何か伺いたい。

(2) 社会福祉法人における過剰利益はどの程度であるか。また、あらためて社会福祉法人の意義とは何か、優遇措置は何か伺いたい。

(3) 介護職員の待遇に関する調査、改善をしたのか伺いたい。

(4) 将来の修繕等のリスクに備えた対応は、どのように改善されたのか伺いたい。

(5) 今後、これらの問題について、どのように指導監査していくのか伺いたい。
(要望) 社会福祉法人のマネジメントを指導できるような組織が行政の中に必要と考えるので、検討するよう要望します。

10 介護職員処遇改善加算関係について

(1) 介護職員処遇改善加算の目的と内容は何か伺いたい。
(2) 介護職員処遇改善加算の課題はあるのか伺いたい。
(3) 介護職員処遇改善加算のチェックは、どのようなものがあるのか伺いたい。
(4) 介護職員の賃金改善に役立てるためには、一層の抑止力あるチェックが必要と考えるが、どうか。
(要望) 社会福祉法人に不適切な運営がないよう、徹底した調査、経営改善をすること、また、その報告を適時していくことを要望します。

11 横浜市総合保健医療財団について

(1) 財団の事業概要と設立の目的について伺いたい。
(2) 総合保健医療センターの診療所については、市立施設でよいのか伺いたい。
(3) CT・MRIを、どのような事業に活用しているか伺いたい。
(4) 総合保健医療センターで行う介護老人保健施設や診療所は、民間ではできないことなのか。整理すべき事業だと考えるが、どうか。
(5) 保有する資産を取り崩し、本市へ寄附させる考えがあるのか伺いたい。

12 横浜市社会福祉協議会について

(1) 融資＝返済という観念がなく、返済計画もできていない理由を伺いたい。
(2) 横浜市社会福祉協議会への4億円の貸付について、一括して返済させることが可能と考えるが、どうか。
(要望) 適切に対応していくよう要望します。

13 横浜市リハビリテーション事業団について

(1) 固定資産に計上された美術品は、どのような方法、財源で取得したのか伺い

たい。

(2) 現預金を退職給与引当金の不足に充てることはできないのか伺いたい。

(3) 退職金の減額をすべきと考えるが、どうか。

14 外郭団体の監事

(1) 市職員が監事を行っていることについて、法的に問題はないのか伺いたい。

(2) 市職員が行っていることについて、今後どのように対応していくのか伺いたい。

(3) 市として、他の外郭団体を含めて今後どのように対応していくのか伺いたい。

(4) 昨年の決算審査での副市長答弁のポイント3点について、確認の意味を込めて伺いたい。

(意見) 次の決算審査でも、この取組について審査するので、きちんと取り組むこと。

3 白井正子委員（共産党）

1 国民健康保険料算定方式変更による影響について

- (1) 賦課割合は60対40では、低所得者層への対応が不十分であり、さらに配慮すべきと考えるが、どうか。
- (2) 経過措置を2年にとどめる理由について伺いたい。
- (3) 障害者や寡婦世帯を対象にした経過措置を実施しない理由について伺いたい。
- (4) 算定方式変更の周知方法について伺いたい。
- (5) ダイレクトメールによる通知は、保険料額が確認できる内容となっているか伺いたい。
- (6) 6月に行う保険料通知では、本来の保険料額、25年度の保険料額、26年度の保険料額、経過措置の額などを知らせるべきと考えるが、どうか。
- (7) 減免制度の拡充が必要になると考えるが、どうか。
- (8) 経過措置を、恒久的措置として続ける必要があると考えるが、どうか。

2 生活保護事業について

- (1) 生活保護の相談窓口への来所者数の傾向と要因について伺いたい。
 - (2) 報道の影響で保護の申請のハードルが高くなっていると考えるが、どうか。
 - (3) 相談窓口に行っても生活保護に至らない方がいる現状に対する認識について伺いたい。
 - (4) 生活保護に至らなかった方に対して、新たな事業が始まると聞いているが、今後の事業について伺いたい。
- (要望) 正規の職員をしっかりと配置し、丁寧な対応ができるよう要望します。

4 古谷靖彦 委員（共産党）

1 障害者の外出支援施策の見直しについて

- (1) ガイドボランティアの見直しに関して、関係当事者の意見をどのように反映してきたのか伺いたい。
 - (2) 制度を支えてきたボランティア組織の方から、どのような意見が出ているのか伺いたい。
 - (3) 現在のガイドボランティアの数は、視覚障害者のニーズに対して足りているのか伺いたい。
 - (4) 今回の見直しで、ガイドボランティアの数はどうなると推計しているのか伺いたい。
 - (5) 4月から具体的にどのようにボランティアの養成をしていくのか伺いたい。
 - (6) 交通費を使わないでボランティアをされている方はどの程度いるのか伺いたい。
 - (7) 身近なところでガイドボランティアを育成する体制になっていないと考えるが、どうか。
 - (8) 視覚障害者の方が、今回の制度設計で納得できると考えているのか伺いたい。
 - (9) 今回の見直しでは、知的障害者の制度が拡充するかわりに視覚障害者の制度が後退するが我慢して欲しい、と言っているように思えるが、どうか。
 - (10) 視覚障害者の方は納得すると思うか伺いたい。
- (要望) 不十分な提案であり、この際、再度見直しをすることを要望します。

5 遊佐大輔委員（自民党）

1 生活保護受給者に対する生活指導について

- (1) ギャンブルなど生活上の課題を抱えた生活保護受給者に対して、どのような指導を行っているのか伺いたい。
- (2) 生活保護費をギャンブルなどで浪費しないことを禁じる内容の条例を制定することは可能なのか伺いたい。
- (3) 生活保護制度の適正化に向けて、国に要望すべきと考えるが、どうか。

2 障害者の移動支援について

- (1) 障害福祉費予算が増えたのは、主にどのような理由なのか伺いたい。
- (2) 障害者の移動支援施策を実施する目的について伺いたい。
- (3) 特別支援学校に通学するにあたって、何か支援策があるのか伺いたい。
- (4) ICカード化について、どのように考えているのか伺いたい。

3 自殺対策について

- (1) 市内の平成24年の自殺者数とそれ以前の3年間の自殺者数の推移について伺いたい。
- (2) これまで本市は自殺対策にどのように取り組んできたのか伺いたい。
- (3) 25年度の自殺対策の取組の方向性について伺いたい。
- (4) 市役所全体での自殺対策の取組についての考えを伺いたい。

4 重度障害者医療費援助事業について

- (1) 精神障害者を新たに対象とした本市の考え方について伺いたい。
- (2) 制度拡充にかかる対象者数と所要額について伺いたい。
- (3) 精神障害2級まで適用を拡大する考えはないのか伺いたい。
- (4) 精神障害者について、入院医療費が助成対象とならない理由を伺いたい。
- (5) 精神障害者へ助成を実施するにあたって、運用面で課題はないのか伺いたい。

5 薬物乱用防止キャンペーンについて

- (1) 違法ドラッグなど、若者に広がる薬物乱用に対する認識と取組について伺いたい。
- (2) 昨年開催された薬物乱用防止キャンペーンについて、どのような点を評価しているのか伺いたい。
- (3) 今後、横浜市もこのキャンペーンについて、一層支援を進めるべきと考えるが、どうか。

6 介護保険制度について

- (1) 本市の介護保険において、給付費の動向はどのようなになっているのか伺いたい。
 - (2) これまで介護保険制度について、本市ではどのような普及啓発の取組を進めてきたのか伺いたい。
 - (3) 今後、保険者として制度改革に対しどのような取組を進めていくのか伺いたい。
- (要望) 国に対して、積極的に意見を言っていくことを要望します。

7 孤立予防対策について

- (1) 孤立予防対策検討委員会の設置の経緯について伺いたい。
- (2) 孤立予防対策を進める上での課題について伺いたい。
- (3) 孤立予防対策検討委員会での検討結果について伺いたい。
- (4) 孤立予防対策に対する副市長の所感を伺いたい。
- (5) 民間事業者等との連携した取組の効果について伺いたい。
- (6) 今後の孤立予防対策の方向性について伺いたい。

6 興石且子委員（自民党）

1 地域密着型サービスの充実について

- (1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の、利用者の数、要介護度の状況、世帯状況について伺いたい。
 - (2) 事業者が提供したサービスについて、1日の定期巡回の回数と随時対応・随時訪問の状況はどうか伺いたい。
 - (3) この事業を進めてきた中で、どのような課題が見えてきたのか伺いたい。
 - (4) 今後、どのような考え方に基づいて、整備していく区を決めていくのか伺いたい。
 - (5) 事業実施にあたり利用者や事業者の意見なども幅広く取り入れることが重要と考えるが、どうか。
 - (6) 複合型サービスの実施状況と今後の展開について伺いたい。
- (要望) 利用状況や見えてきた課題に反応し、その特性に合った支援をしていくことを要望します。

2 在宅医療連携拠点モデル事業について

- (1) 本市の在宅医療の現状についてどのような課題があると認識しているのか伺いたい。
- (2) 在宅医療連携拠点では、どのような業務を行うのか伺いたい。
- (3) モデル事業として実施する在宅医療連携拠点の実施体制について伺いたい。
- (4) 今後のスケジュールについて伺いたい。

3 介護支援ボランティアポイント事業について

- (1) 介護支援ボランティアポイント事業を開始するにあたり、期待していた当初の目的はどのようなものであったのか伺いたい。
- (2) 現在、活動されているボランティアの方は、どのような意識でいらっしゃるのか伺いたい。

- (3) 介護支援ボランティアポイント事業の現在の登録者数とその目標、ポイントの活用状況について伺いたい。
- (4) 介護支援ボランティアポイント事業の課題について伺いたい。
- (5) 介護支援ボランティアポイント事業の今後の事業展開について伺いたい。

4 がん検診受診率向上策について

- (1) 第2期健康横浜21の意見募集に対して、がん検診にはどのような意見が寄せられているか伺いたい。
- (2) 各区におけるがん啓発事業について伺いたい。
- (3) がんを早期発見することのメリットと啓発内容への反映について伺いたい。
- (要望) 強いインパクトを持った事業、市民目線に立ったより細やかな啓発、相乗効果が生まれるような施策を行うことを要望します。

5 生活保護における就労支援について

- (1) 就労支援専門員の業務内容と対象者の選定の仕方について伺いたい。
- (2) 24年度の就労支援専門員の支援実績と25年度の事業の拡充について伺いたい。
- (3) 就労支援専門員の採用条件はどうなっているのか、また専門性をどう担保しているのか伺いたい。
- (4) 中区で実施している仕事チャレンジ講座の事業内容と実績について伺いたい。
- (5) 保土ヶ谷区の就労体験の少ない若者に対する社会参加・就労体験事業の実施方法、実績について伺いたい。
- (6) 就労体験の少ない若者に対する社会参加・就労体験事業の25年度の展開について伺いたい。
- (要望) 中区の仕事チャレンジ講座で高い実績がでていることから、保土ヶ谷区の水社会参加・就労体験事業の拡大について検討するよう要望します。

6 災害時のペット対策について

- (1) 各防災拠点等でのペット同行避難訓練の実施状況とその内容について伺いた

い。

(2) 25年度のペットの災害対策の取組について伺いたい。

(3) ペットの飼い主が日ごろから準備しておくべきことは何か、またその周知方法について伺いたい。

(要望) 防災拠点におけるペットの飼育に関するルールの作成にあたっては、飼い主、獣医師などを含めた委員会等を発足させ、体制を整備し、啓発を行うことを要望します。

7 産科・周産期医療について

(1) 市内の出産に対応する施設数、出産件数の状況について伺いたい。

(2) 主に正常出産に対応する診療所に対する支援について、どのように取り組んでいるのか伺いたい。

(3) 産科拠点病院の本格運営に向けた25年度の取組について伺いたい。

1 介護保険施設の整備について

- (1) 特別養護老人ホームと介護老人保健施設の整備計画と25年度の整備予定について伺いたい。
- (2) 特別養護老人ホームの入所申込者・入所待ち期間について伺いたい。
- (3) 特別養護老人ホームの入所の決定方法について伺いたい。
- (4) 特別養護老人ホーム等の介護保険施設の、今後の整備の進め方について伺いたい。

2 患者流動調査について

- (1) 患者流動調査の背景と目的について伺いたい。
- (2) 患者流動調査の内容について伺いたい。

3 国民健康保険事業について

- (1) 今年度の国民健康保険料の収納実績について伺いたい。
- (2) 25年度の国民健康保険料収納率向上の取組について伺いたい。
- (3) 保険料算定方式を変更する理由について伺いたい。
- (4) 保険料算定方式の変更によって、滞納となる世帯が増えるのではないかと懸念されるが、このことについてどのように考えているか伺いたい。
- (5) ひとり親世帯で障害のあるお子さん2人の3人世帯で給与収入が300万円の場合、25、26、27年度の保険料負担の変化について伺いたい。
- (6) 急激な保険料の増加によって納付が困難となる世帯に対し、どのように相談に応じていくのか伺いたい。

4 小児医療費助成事業について

- (1) 予算額が前年度に比べて増加している理由について伺いたい。
- (2) 例えば、所得制限は現行制度のままで小学3年生まで年齢拡大する場合、同

様に小学6年生まで年齢拡大する場合、それぞれ所要額の試算を伺いたい。

- (3) 他の政令市の助成水準について伺いたい。
- (4) 県内自治体の助成水準について伺いたい。
- (5) 県補助財源の確保に対する取組について伺いたい。
- (6) 小児医療費助成の拡充に対する今後の取組について伺いたい。

5 内視鏡検査による胃がん検診について

- (1) 内視鏡検査を導入した場合、X線検査と比較してどれくらいコストがかかるのか伺いたい。
 - (2) コスト面以外の内視鏡検査の課題について伺いたい。
 - (3) 内視鏡検査の政令市の実施状況及び、X線検査と内視鏡検査ごとのがん発見率について伺いたい。
 - (4) 内視鏡検査の導入に向けた方向性について伺いたい。
- (要望) 国の指針を超えて、本市でも独自に内視鏡検査による胃がん検査を導入することを要望します。

6 病院事業会計繰出金について

- (1) 病院事業会計へ繰出金を支出する理由を伺いたい。
 - (2) 繰出金の対象となる項目と積算方法の考え方について伺いたい。
 - (3) 繰出金に頼らない自立した病院経営に対する考えについて伺いたい。
- (要望) より一層効果的な繰出金のあり方になるように取り組むことを要望します。

1 災害時における医療機関の電源確保について

- (1) 災害発生時に医療機関はどのような対応をするのか伺いたい。
- (2) 災害時の医療機関の電源確保の状況について伺いたい。
- (3) 災害の状況に応じた臨機応変な対応をどのように考えるか伺いたい。
- (4) 東京湾周辺の火力発電所停止時に、横浜の医療にとってどのようなことが想定されるのか伺いたい。
- (5) 市民が災害時に診療してもらえる医療機関を把握する方法について伺いたい。

2 障害者の就労支援について

- (1) 事業を進めるにあたっての指標や目標について伺いたい。
- (2) 25年度予算の障害者就労支援事業の中の重点的取組について伺いたい。
- (3) 事業者の障害者雇用に対する意識改革の取組について伺いたい。
- (4) 民間企業における障害者雇用の好事例の普及啓発について伺いたい。
- (5) 障害者の雇用率向上に向けた意気込みについて伺いたい。

3 市内医療機関の医師確保について

- (1) 市内医療機関の医師数の推移について伺いたい。
- (2) 医師数は増加しているが、診療科目によっては医師に偏りがみられ、特に産科、小児科は医師が不足しているような話を耳にするが、どうか。
- (3) 大学医学部との連携について伺いたい。
- (4) 医師確保に向けた今後の対応について伺いたい。

1 老人漂流社会対策について

- (1) 老人漂流社会についての所感を伺いたい。
- (2) 行き場のない高齢者への対策について伺いたい。
- (3) 居場所を転々とする高齢者の本市での状況について伺いたい。
- (4) 本市での高齢化率と今後の傾向について伺いたい。
- (5) 介護療養病床数の本市での現状について伺いたい。
- (6) ショートステイの期間を長くする対応について伺いたい。
- (7) 本市で、生活保護を受けている65歳以上の高齢者数について伺いたい。
- (8) 市内におけるサービス付き高齢者向け住宅の登録件数や戸数について伺いたい。
- (9) 家族で支えられない超高齢社会を前提にして、新しい社会制度が必要と考えるが、本市での対策はどうか。
- (10) 既存の公営住宅を活用した福祉施策の取組について伺いたい。
- (11) 他の自治体では、高齢の生活保護受給者を無料低額宿泊所に斡旋していると聞くが、本市の状況について伺いたい。
- (12) 高齢者が安心して最期を迎える居場所づくりの取組について伺いたい。
- (13) 安心して老後を過ごす居場所さえない、老人漂流社会を迎えているが、高齢者が最期まで尊厳をもって生きられる社会をどう作っていけばよいと考えるか伺いたい。